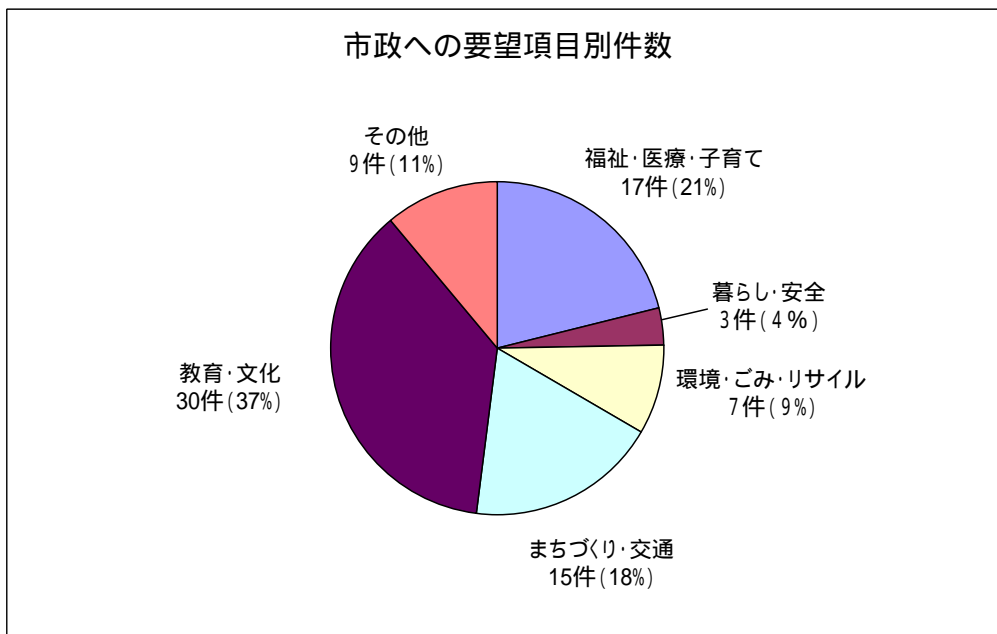


6.過去の提案等取り組み状況

平成18年度“タウンミーティング「市長と語る」”提案等取り組み状況

テーマ 育てよう健康のまち八王子 ~いきいき暮らせるまちをめざして~
各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月13日	市役所本庁舎	中央	本庁	99	7	10
5月20日	東浅川保健福祉センター	西南部	浅川 横山 館	93	5	8
5月27日	由木中央市民センター	東部	由木 由木東 南大沢	107	10	19
6月3日	元八王子市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	101	8	16
6月24日	由井市民センター	東南部	由井 北野	103	12	14
7月1日	石川市民センター	北部	加住 石川	116	8	14
合計				619	50	81



ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況の一例をご報告すると

平成18年5月13日・市役所本庁舎【中央地域】

<意見> 清水川の源流の湧水池があり、周りに雑木林がある。これ以上その雑木林がなくなるといように、何とか手がうてないものか。そうしないと、せっかくの湧水池が死んでしまうと思う。

(梶原 久幸 様)

市長 八王子には幾つか湧水池があるが、だんだん水が枯れてしまったというのが多い。当然、これは周りが宅地化をされて雨水等が浸透しなくなっているというようなこともある。例えば、横川の湧水池は、その周辺用地を市が買い取り湧水の復活をさせようと、取り組みもしている。清水川の源流になっている湧水池も、早急に調査をする。

【対応】 タウンミーティング後、直ちに発言要旨の湧水池を調査し、確認した。その源流部は、昨年、市が緑地として購入、現在、公園課が檜原緑地として管理している状況にある。

<意見> 去年の浸水想定区域図などを見ると、浸水が想定されている区域というのが相当浅川周辺にある。都の管轄河川が非常に八王子に多いが、ハザードマップを八王子市も早く作って、まちづくりにぜひ活かしていただきたい。

(諏訪 祥子 様)

市長 八王子は、浅川を中心にして17の河川が市内を流れているので、これは十分に備えていかなければいけないことの一つ。ハザードマップも今準備している。できるだけ早い時期に、これを作る。十分な備えをしていきたいと思っている。

【対応】 昨年9月、多摩川と浅川の国土交通省直轄区間について洪水ハザードマップを作成。防災課及び市民部事務所窓口で配布しているほか、浸水想定区域及びその周辺の住民には町会をとおして戸別配付を行った。

また、東京都管理河川については、現在、都が浸水予想区域図を作成中であり、これが公表された後に該当する河川周辺のハザードマップを作成する予定である。

<意見> 浅川地区では地域総合型スポーツクラブというものが、学校施設開放を中心に設立目前である。ところが、このスポーツクラブで何をしたらいいのか、我々は全然わからない。市に行って聞くには、誰かが半日仕事を休むようになり、それでは続かなくなる。携わってくれる職員を、1年間担当制で派遣してほしい。

(網野 竹文 様)

市長 総合型スポーツクラブのことについて、なかなか受け入れていただけない地域もあり苦労している面もある。理解をしていただくための努力も、もう少ししなくてはいけないと思う。皆さんもお仕事をされておられるわけだから、夜集まっていたときに私どもで派遣し、いろいろな意見を聞かせていただいたり、市の考え方を伝える、そういう仕組みをつくる。

【対応】 5月20日以降6回実施した。夜、各地区に出向き、地区の意見を聴くとともに、市の考え方を伝えた。今後も地区から要請があれば、情報交換のできる場を設定していきたい。

また、市内全23地区の代表を一堂に集め、「情報交換会」を開催し、(平成18年10月18日及び11月29日)先進地区の事例発表や地区相互の情報交換を行い、各地区の今後の取り組みの参考にもらった。

<意見> ウォーキングは、若い人でもお年寄りでも気軽にできるということで、スポーツの基本的なことだと思う。毎日ウォーキングすると、生活習慣病の防止になり、外に出ることは健康上、精神衛生上も非常によいと思う。

ウォーキング道路は現在もあるが、サイクリングロードと兼用。改めて、いつでも楽しく、ゆっくり安心して歩ける我々のウォーキング道路、散歩道路といったことを考えていただきたい。

(横沢 勝弥 様)

市長 健康の基本は歩くことだと思う。安全に歩ける道路を整備することは、大事なことだと思っているが、健康づくりというのは基本的には市民の皆さん一人ひとりの問題。行政は、その健康づくりが取り組みやすい環境を作っていくことが、仕事だと考えている。サイクリングロードの、第一期整備が完成するが、歩く方ももちろんいい。自転車だけでなく、歩くだけでもない。サイクリングロードというネーミングがいけないのかなという感じもするが、考えていきたい。

【対応】 道路事業部所管「浅川サイクルロード」とスポーツ振興課所管「浅川サイクリング道路」の愛称を「浅川ゆったりロード」と変更し、「自転車に乗ったカメ」をシンボルマークとした。この2つは、市民公募から決定したものであり、浅川の自然溢れる景色をゆっくりと楽しみながら、サイクリングやウォーキングなどに利用していただく思いが含まれている。また、浅川ゆったりロード沿線には総合案内板を設置し、利用者満足度を向上させるような取り組みをしている。

平成18年5月27日・由木中央市民センター【東部地域】

<意見> 行政というのは、はっきりどこも縦割りである。例えば福祉と環境保全、農林、これらが手を結んだらいろんなことができると思う。財政の問題じゃない。また、市の職員の情報量が少なすぎる。情報をいっぱい持っているのは市役所であり、それをどう活用するかというところを、職員の人たちに考えてほしい。

(鈴木 亨 様)

市長 縦割りは、役所の一番悪いところ。それは一番の課題だと思っている。情報を共有できる体制を、どう作っていくかがこれからの役所のあり方だと思う。組織を作るにしても、意識改革を進めているし、関連のある部署というのは、みんなが関心を持つように、これからも努力をしていきたい。

【対応】 各部に連絡調整を担当する課長職（企画調整担当主幹）を配置し、横の連携を深め、組織の縦割りの弊害をなくすように努めている。

また、情報を共有できる体制づくりについては、行財政改革プランにおいても、重要な取り組み項目の一つとなっており、有効なデータの洗い出し及びデータを活用するしくみの構築の検討を行っている。

さらに今後も、一人ひとりが自ら考え行動できる高い意識をもった職員を育成するとともに、よりよい地域社会へ貢献ができるよう職員の意識改革に努めていく。

<意見> 八王子かるたをサタデースクールで去年やったが、とてもおもしろいと言われた。まだ皆さんご存知ではないのかなということなので、かるた大会とか催し、その目標に向けてこれを広めていただきたい。声を出しての暗唱は、腹筋とか鍛えられる。健康にこれにつながっていきたいと思う。

(白水 嘉奈子 様)

市長 八王子かるたは、八王子の歴史や文化とかが、非常に上手に歌い込まれている。子どもたちに自分のふるさとをよく知っていただくということは、大事なことだと思う。そういう一つの手段としても、このかるたはいいと思うので、機会を見て普及に努めていきたい。

【対応】 昨年度特別展（平成 19 年 2 月 20 日から 3 月 25 日開催予定「市民の記録した戦後の八王子～ 淵上明の写真から～ 縁側の子もたち」）中、特別展内容と関連させて「昔のあそび」を八王子市郷土資料館で開催した。その中で取り上げた「かるた遊び」では「八王子かるた」を用い、八王子の歴史や文化などにも参加者に触れていただき、また、「八王子かるた」を周知する機会として実施した。

また、お正月の時期にあわせ、広く市民や市内の他所管でも積極的に活用してほしいと考え、広報 12 月 15 日号と郷土資料館ホームページにおいて「お正月にかるたを」を掲載、さらに「八王子かるた」のポスターを作成し、改めて周知をはかった。

今後も「八王子かるた」が広く親しまれるよう、様々な方法と、適宜見直しを図り、周知を徹底させていくよう努めていきたい。

平成 18 年 6 月 3 日・元八王子市民センター【西部地域】

<意見> 健康増進法が制定され、各施設の管理者の管理責任というものが法的に決まっている。八王子の場合、例えば飲食店に入ると、ほとんど喫煙が制約されてない。駅前やその他道路での歩きたばこも非常に多い。千代田区その他では対策を取っており、この点についての指導をお願いしたい。

（斎藤 道彦 様）

市長 レストランなど、実際に喫煙の席を分煙で設けているところがある。施設の完全禁煙については勉強する。歩きたばこは、マナー向上のキャンペーンを行い 4 割減った。これ以上これを向上させるには、罰則規定まではなかなか難しいと思うが、条例でも作らないといけないのかなと思う。どれだけ実効性が上がるかわからないが、条例の制定を検討している。

【対応】 飲食店については、健康増進法に基づき、各経営者（管理者）が受動喫煙を防止することを義務付けており、市では広報などを利用して、周知するよう努めている。

迷惑喫煙については、市民からの意見や要望が絶えないことを受け、市内条例検討委員会を設置。関係団体の意見を取り入れながら検討を重ね、平成 18 年 12 月議会に「八王子市路上喫煙の防止に関する条例」を提案し、議決を経て平成 19 年 1 月から施行した。この条例では、市内全域の路上での「歩きタバコ」を禁止したほか、4 月からは、八王子駅北口周辺を路上喫煙禁止地区に指定した。悪質な場合は、過料（20,000 円以下、但し当面原則 2,000 円）を課すことになっているが、当面は啓発活動を中心に行っている。

<意見> 道の駅がどこにできるかということが、よくわかっていない方が多い。八王子駅前の大きな市のテレビに、地図などでも書いていただくとか、道の駅は来年こういうふうにできるというのを言っていただくなど、PRをしてほしい。今年中に、大きなイベントでも実施したらどうか。

(松木 英子 様)

市長 造成工事が終わったということで、まだ、何も形が見えてない。工事は7月着工するが、着工して一応目途がついてきたら、PRをまめにやりたい。いろいろ考えてみたい。

【対応】 PR実績

- ・ 広報はちおうじ 18.7.15 に道の駅オープン予定を掲載。
19.3.15 にオープン特集記事を掲載。
名称募集など過去にも機会あるごとに掲載している。
- ・ 市ホームページ 暮らしの便利帳 産業・仕事 道の駅八王子滝山に
完成予想図や施設の配置図、案内図を掲載。
道の駅八王子滝山のホームページへのリンク。
- ・ 雑誌やカーナビ 雑誌の取材に協力し、道の駅が紹介されている。
依頼があったカーナビ会社に情報を提供。
- ・ 国・都、関係機関へPR要請
相武国道事務所が新聞折り込みで道の駅のPRを実施。
- ・ インターネット 道の駅関連のインターネット情報で紹介されている。
- ・ 日野市におけるPR 一般国道20号日野バイパス
日野市川辺堀の内日野バイパス敷地内
平成19年3月17日(土)日野バイパスふれあいフェスタ
平成19年3月24日(土)開通式典
において、
道の駅八王子滝山のパネル展示およびチラシ配布(300枚)

イベント

- ・ 平成19年4月1日(日) オープンセレモニーを実施。16,000人が来場。
- ・ 平成19年4月30日(日) 「道の駅発 春の滝山城跡散策ツアー」30名参加。
- ・ 道の駅きっぷ発売中。
今後も、一人でも多くの方に楽しんでいただけるように指定管理者が市と協力をして、イベント等を企画する。

<意見> 八王子にある障害のある人たちのグループホームは、まだ21ぐらいで、大体100名ぐらいの利用の方がいる。重度の方たち、中軽度の方たちのもう1寮を作っていただくと大変ありがたい。知的な障害の方、身体的な障害の方、精神的な障害の方も、八王子の中で生きていけるようにご尽力いただきたい。

(矢代 美知子 様)

市長 障害者自立支援法が施行されたが、その趣旨は、障害を持っておられる方が、住み慣れた地域で生活ができるように、自立ができるように、支援をしようということ。私どももきちんと受け止めさせていただく。今、八王子には知的障害者のグループホームは22施設だが、まだ十分でないことはよく承知をしている。これは精一杯努力をする。少し時間をいただきたい。

【対応】 市は、障害者の方が住み慣れた地域で暮らせるように、グループホーム等の新規設置を進めており、平成17年度までは、毎年10名分程度の新規施設の設置を実施してきた。平成18年度は、新規施設3箇所、施設定員増2箇所約30名分の認定を行った。平成19年度以降においても、30名程度の新規施設の認定等を行う予定であり、今後もグループホーム等の設置を促進していきたい。

<意見> 公園でボール遊びの禁止という看板がある。ボール遊びをすると怒られてしまうということもあるみたいで、子どもたちは公園でゲームをして遊んでいる。そのことに関してどのように思われているか。

(村松 千枝 様)

市長 小さな公園では、そのような禁止事項があるかもしれないが、大きな公園にいけばボール遊びは可能ではないか。公園アドプト制度に参加してもらい、その中で、公園のルールについても皆さんで決めていってほしい。

【対応】 市内の公園において、野球・サッカーは禁止しているが、キャッチボールや2～3人でボールの蹴り合いは禁止していない。しかし、中・高生や大学生などの若い人たちが遊んでいると、公園を利用する幼い子どもや高齢者にボールが当たりケガをする事があり、地域からの要望によって弱者の保護のためやむを得ず「ボール遊び禁止」の看板を設置している公園もある。公園のお知らせ看板(キャッチボールやボールけりの可能)については改善を検討中である。また、今後、野球やサッカーのできる公園を選定して、ホームページ等で紹介できるように検討を進めている。

<意見> 学校開放の中で夜間利用することが多いが、警備のいない無人化の学校がある。そうすると、体育館を借りたいが、学校まで開放されてしまうという形で警備上非常に問題がある。これに関する今後の進め方を聞かせていただきたい。

(福島 忠治 様)

市長 学校管理員がいない学校については、早速管理体制不十分ではないように、不合理のないように調整をする。

【対応】 教育委員会では、施設開放している学校について、平日の夜間及び土曜日、日曜日に学校管理員や施設開放員をおいて施設開放時の対応を行っている。

<意見> はちバスは、丸山町や久保山町の下の方の宇津木台までは来ているので、何とか丸山町や平町まで運行していただけないか。丸山町からあったかホールに行くことができれば、たいへん有り難い。

(小坂橋 稔市良 様)

市長 はちバスは、そういうご要望が非常に多いが、要望にはお応えしきれない。コースを決めるときには、専門家などに入ってください委員会を作り、コースを決めたという経緯がある。それを簡単にあっちの路地、こっちの路地というわけにもいかない。今後の取り組みの課題とさせていただきたい。

【対応】 はちバスのルートについては、地域循環バス等検討委員会で交通不便(空白)地域を選定し、そのうちコミュニティバスによって対応する地域として決定している。

現在のところ、コースの変更は考えていないが、様々な環境などの状況の大きな変化があった場合は、課題として取り組んでいく。